

活動名：川俣ウインターカップフットサルU12

日程：令和6年1月13日（土）・14（日）

会場：川俣町体育館

参加：T6クラス 5名 L100クラス（5年生）2名 合計 7名

帯同：佐藤コーチ

サポート：初日設楽コーチ・2日目大森コーチ

結果（24チーム中15位）

初日

VS 川俣・醸芳SSS 0-3

VS 清水SSS 3-0

VS FCヴェルジナーレジュニアsecond 3-5

2日目（4位トーナメント）

VS 愛誠SSS 0-6

VS リーブル会津 1-0

報告

1月13日、14日の2日間川俣SSSさん主催による川俣ウインターカップが行われ、L100の6年生1チーム、T6の6年生1チーム、（L100の5年生はリフティング回数により分かれて構成）参加させていただきました。私はT6チームを担当しましたので報告いたします。

先週行われた試合では年末年始にボールを触れていなかったようなプレーだったということで、今週は若干調整もしてくるかとは思いました。

戦い方としても組織立ててプレーしていくよりも、個で戦うプレーをしていくようにしているので、選手たちの気持ちの入ったプレーが出ていたと思います。そして、そのようなプレーが通用しないときにハーフタイムに話したことについても一生懸命やってみることをしていました。その中で気づくことができたことも多いと思います。

良かったこと

OL100との対戦を目標にしてのぞんだ2日目の初戦愛誠戦、序盤はどちらもチャンスを作ることができない一進一退の中、相手チームのチャンスが先に来て失点してしまいました。なかなか自分たちはチャンスが作れない中、後半失点を重ねていきました。しかしあきらめる姿勢は全くなく、最後まで得点に向けてプレーしていました。L100との対戦はかないませんでした。その気持ちを出した選手たちは素晴らしい

ったです。

○1対1の場面での粘り強さがでていたこと。6年生たちも動きや体も成長してきており、相手との1対1の場面では、オフェンスでもディフェンスでもしっかりと対応していた場面が多くなったと感じました。そして、うまく対応できなかった後についても粘り強くあきらめないで奪い返したり、粘り強く食らいついていました。5年生も大きい選手に対しても、スピードの速い選手に対しても怯むことなくプレーしていて成長を感じました。

課題

シュートを多く打てるようにしようということをテーマにしてその意識もシュートも多く打てるようになったと思います。さらに、シュートを打つ場所についても話していった、シュートチャンスはありました。しかしながら、ボールをしっかりとらえること、ゴールの枠にシュートするということが課題だと感じました。このスキルの向上が得点につながり、チームの勝利にもつながると思います。また、このスキルがほかのプレーにもつながると思いますので、トレーニングしていきたいと思います。

川俣SSSさんには2日間にわたり運営そして審判等もご協力いただきありがとうございました。また、ご父兄の皆様には寒い中2日間応援していただきありがとうございました。皆様の応援を背に選手たちは思いっきりプレーできたと思います。今後どうぞよろしくお願いいたします。

コーチ 佐藤



